

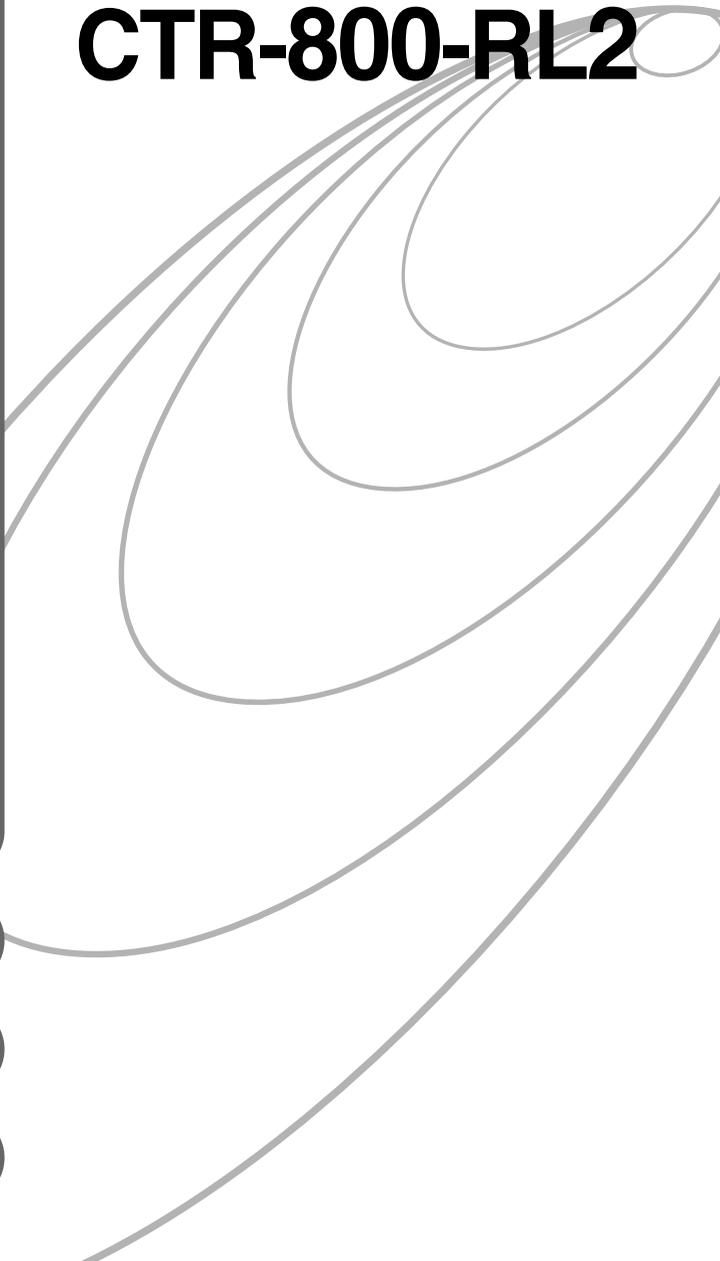
CTR-800-RL2

ユーザーズマニュアル



SS無線アクセスポイント

CTR-800-RL2



正しく安全に お使いいただくために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。

危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い」内容です。

警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

必ずお守りください



警告

分解、改造をしないでください



感電、火災、怪我などの事故、または故障を起こす恐れがあります。また保証を受けられなくなることがあります。

本製品を分解したり、本機の内部に触れることは、電波法で禁止されており法律で罰せられることがあります。

異物を機器の内部に入れないでください



金属片、水などの液体が入ると、感電や火災を起こす恐れがあります。もし入った場合は、取り除こうとせず、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

強い衝撃を与えることや、振動の加わる場所での使用・保管は避けてください



感電や火災、または故障を起こす恐れがあります。

水濡れ、高温、多湿、直射日光は避けてください



感電や火災、または故障を起こす恐れがあります。

表示された電源電圧 (AC100V) 以外で使わないでください



発熱、発火などによる火災や、感電や怪我などの事故を起こす恐れがあります。

電極部をショートさせないでください



AC アダプタの電極などを、安全ピンやクリップなどの金属でショート（接触）させたり、手や指など身体の一部で触れないでください。発熱、発火などによる火災や、感電や怪我などの事故を起こす恐れがあります。

濡れた手で電源プラグに触らないでください



感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり加工したりしないでください

重い物をのせる、引っ張る、無理に曲げると電源コードを傷つけ、火災や感電などの事故を起こす恐れがあります。



付属の AC アダプタ以外を使用しないでください

他の AC アダプタを使用すると、発熱、発火などによる火災や、感電や怪我などの事故を起こす恐れがあります。



付属の AC アダプタを他の機器に使用しないでください

発熱、発火などによる火災や、感電や怪我などの事故を起こす恐れがあります。
また、機器や AC アダプタの故障の原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くで使用しないでください

電子機器(医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など)が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



本製品は、その故障が直接人命を脅かしたり人体に影響のある装置(原子力制御、航空宇宙、交通機器、燃焼機器、各種安全装置など)に使用するために開発、意図、許可されているものではありません。



薬品に近づけないでください

薬品が触れる場所や薬品のそばで使用・保管はしないでください。火災や感電、故障を起こす恐れがあります。



高所に置くときはネジ等で必ず固定してください

本製品が落ちて、怪我をしたり、故障する恐れがあります。



発熱、発煙、異臭などの異常が発生したときはすぐに AC アダプタをコンセントから抜いてください

そのまま使用すると火災、感電、怪我などの原因となります。

注意



本製品のコネクタ部に直接手を触れないでください

本製品および接続していた機器の故障の原因となります。



乳幼児の手の届くところに置かないでください

怪我などの原因となります。



不安定なところに置かないでください

落下して、怪我や故障の原因となります。

壁に掛けて設置する際に、本製品用の壁掛け金具以外は使用しないでください。



ケーブルを接続するときは、必ずケーブルのコネクタ部分を持って行ってください

特に、すでに接続しているケーブルを取り外す場合は、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。ケーブルが破損するだけでなく、接続していた機器も破損する恐れがあります。



本製品の取り付けおよび取り外し、およびお手入れの際は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。

感電の恐れがあります。



長期間使用しないときは必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください

火災、感電、故障の原因となります。



1. 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備です。
2. 本機を分解したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際の内部点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。
3. 本機は日本国内でのみ使用可能です。海外では電波規格が異なるため使用できません。
4. 本製品を次のような場所には設置および収納しないでください。機器の故障やデータのエラーを招く可能性があります。
 - ・大きな電力を使うものやノイズを発生するものの近く
 - ・ほこりの多い場所や静電気の発生しやすい場所
 - ・強い振動、電磁界、腐食性ガスの発生する場所
 - ・テレビやラジオ、アンテナの近く
 - ・高温、低温、多湿の場所や急激な温度変化のある場所
 - ・直射日光の当たる場所や屋外
 - ・強電波を発生させる機器（電子レンジなど）の近く
5. 本製品の伝送速度は、設置環境や周囲の環境によって変化します。
6. 機器、アンテナ等の改造は電波法違反になりますので、改造しないでください。

製品保証について

1. 製品をご購入いただきましたら、保証書にお買い上げ日、御社名、御住所などをご記入の上、大切に保管してください。
2. 製品の無償保証期間はご購入日より1ヶ年、最長で出荷日より1年3ヶ月となります。ただし、無償保証期間内でも次のような場合は有償となることがありますので、ご了承ください。
 - (1) 保証書のご提示がないとき
 - (2) 保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合
 - (3) マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取扱いによる障害
 - (4) 故意または重大な過失による障害
 - (5) 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
 - (6) 許可なく、改造または他機器の接続、取付けを行なったことによる障害
 - (7) 災害、地震、水害等の天災地変による障害
 - (8) お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
 - (9) 使用上避けられない消耗による障害・部品交換（消耗品交換）
3. 製品の品質につきましては、十分注意して製造しておりますが、なにかお気づきの点がありましたらご連絡ください。
4. 製品の内容は、修正バージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。
5. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに關しての責任を負いかねますので、ご了承ください。

目次

製品保証について	vi
目次	vii
はじめに	ix
同梱品	ix
表記上の注意	x
本書の構成	xii

第 1 章 クイックガイド編

1-1 各部の名称	1-2
1-2 使用前の準備	1-4
1-3 基本設定項目	1-5
1-4 周辺ソフトウェアについて	1-6

第 2 章 ネットワーク構成

2-1 無線通信について	2-2
2-2 無線ネットワークの構成	2-4
2-2-1 ネットワーク構成例	2-6
2-3 フィルタ設定	2-8
2-4 設置について	2-10
2-4-1 通信エリアの確認	2-12

第 3 章 アクセスポイントの設定方法

3-1 設定方法	3-2
3-1-1 RS-232C から設定する方法	3-3
3-1-2 Telnet により設定する方法	3-4
3-1-3 Web ブラウザにより設定する方法	3-4
3-2 設定メニュー	3-5
3-2-1 Configuration Menu	3-6
3-2-2 Statistics Menu	3-13
3-2-3 Status Menu	3-15
3-2-4 SNMP の設定	3-17
3-2-5 許可テーブル (Authorization Table)	3-19
3-2-6 各端末の電波強度を見る (サイトサーベイ)	3-20
3-2-7 Web Browser Management	3-21

第 4 章 仕様

4-1 本体部一般仕様	4-2
4-2 無線部仕様	4-3
4-3 コネクタ仕様	4-4

第 5 章 FAQ 編

5-1 FAQ (よくある質問と回答)	5-2
---------------------------	-----

索引

はじめに

この度は SS 無線アクセスポイント CTR-800-RL2 をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品は CTR-800-01 への無線サービスエリアの提供と、有線イーサネット LAN とのバケット中継を行なう無線アクセスポイントです。

このユーザーズマニュアルは CTR-800-RL2 の使用方法について説明するものです。お客様の業務の効率化に本製品がお役に立てれば幸いに存じます。

同梱品

CTR-800-RL2 本体	1
アンテナ	1
AC アダプタ	1
10Base-2 用 T 型コネクタ	1
マニュアル (本書)	1
保証書	1

別売り

アクセスポイント壁掛け金具 (WMB7050)

表記上の注意

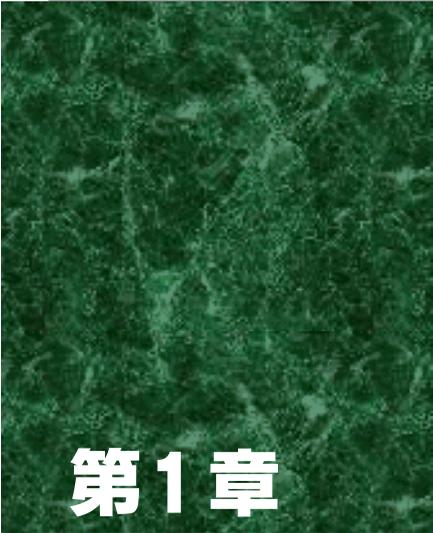
	参照事項を表わします。
	注意事項を表わします。
「CTR-800-RL2」 「アクセスポイント」 「AP- 」	本製品を表わします。
「CTR-800-01」 「端末」 「バーコード端末」	SS 無線レーザーリーダーCTR-800-01 を表わします。

本書の構成

第1章 クイックガイド編 CTR-800-RL2 本体の基本的な取扱いについて説明します。	第1章
第2章 ネットワーク構成 CTR-800-RL2 の設置について説明します。	第2章
第3章 アクセスポイントの設定方法 アクセスポイントの設定方法について説明します。	第3章
第4章 仕様 CTR-800-RL2 本体の仕様について説明します。	第4章
第5章 FAQ 編 よくあるご質問と対処方法を説明します。	第5章



CTR-800-01 についての詳細は、「SS 無線レーザーリーダーCTR-800-01」ユーザーズマニュアルをご覧ください。

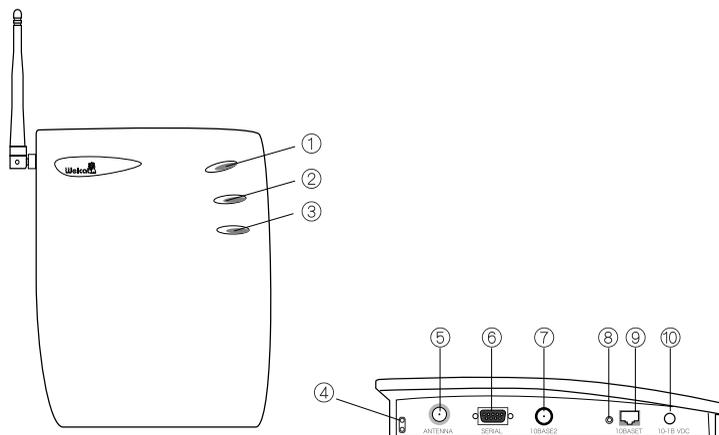


第1章

クイックガイド編



1-1 各部の名称



状態 LED
電源が入ると点灯します。

無線 LED
無線ネットワークにデータ送信中に点滅します。

ネットワーク LED
有線ネットワークにデータを送信中に点滅します。

マスタ LED
動作中に点灯します。

アンテナコネクタ
付属のアンテナを接続します。

RS-232C コネクタ
アクセスポイントの各設定をする場合に、使用します。RS-232C クロスケーブルでパソコンと接続し、パソコンからアクセスポイントのパラメータを設定します。

10Base-2 用コネクタ
有線ネットワークと接続します。10Base-T と 10Base-2 を両方同時に使用することはできません。

リンク LED
10Base-T インターフェース使用時に、リンクが成立すると点灯します。

10Base-T 用コネクタ

有線ネットワークと接続します。10Base-T と 10Base-2 を両方同時に使用することはできません。

電源コネクタ

付属の AC アダプタを接続します。

LED について

状態	状態 LED	無線 LED	ネットワーク LED	マスタ LED
電源 OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
起動中	オレンジ色が点灯	OFF	OFF	OFF
動作中	緑色が点灯	オレンジ色が点滅	緑色が点滅	点灯

1-2 使用前の準備

アクセスポイント本体にアンテナを取り付けます。
アンテナコネクタを時計方向に回して、しっかりと固定してください。

ネットワークと接続します。

- ・ 10Base-T の場合
10Base-T 用コネクタに、モジュラケーブルを接続します。
ケーブルは、奥までしっかりと差し込んでください。
- ・ 10Base-2 の場合
付属の 10Base-2 用 T 型コネクタを使用して、10Base-2 用コネクタにケーブルを接続します。

電源コネクタに AC アダプタコードを接続し、AC アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

アクセスポイントが動作可能になるまで、約 35 秒かかります。
起動中は状態 LED がオレンジ色で点灯し、動作可能になると緑色で点灯します。



インターフェースは自動的に認識されます。
10Base-T と 10Base-2 を同時に使用することはできません。10Base-5 の環境では、変換器を使用して、10Base-T または 10Base-2 に変換してください。

1-3 基本設定項目

アクセスポイントの設定は、ドメインやチャンネルなどの基本設定と、フィルタに関する設定の2つに大別できます。

使用する前に、必ず基本設定を行なってください。この設定を行わないと無線ネットワークは正常に動作しません。

ただし、次の条件を全て満たす場合には出荷時の設定のまま使用することができます。

出荷時の設定のまま使用できる条件

- ・ ネットワークで使用するアクセスポイントは1台のみである。
- ・ 全ての設定項目に出荷時設定値を使用する。
(3-2 設定メニュー P.3-5 参照)



IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を確認し、問題の無いことを確認の上ご使用ください。

- ・ セキュリティ ID を設定しない。

通常は、使用開始時に次の基本設定を行ないます。

基本設定項目

- ・ IPアドレス
- ・ ドメイン
- ・ チャンネル、サブチャンネル
- ・ マスタ名



各項目の設定方法については、「第3章 アクセスポイントの設定方法 (P.3-1)」をご覧ください。

1-4 周辺ソフトウェアについて

CTR-800 シリーズのシステムを構築していただくために、次の周辺ソフトウェアが用意されています。

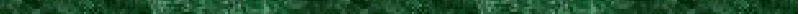
これらは別売りとなりますので、用途に応じて別途ご購入ください。

ソフトウェア名	用途	参照
WebGlider WBG-800-01	無線レーザーリーダーを使って Web 型のシステムを構築可能にする統合ミドルウェアパッケージです。 開発から運用までをサポートするいくつかのモジュールで構成されています。	ソフトウェア付属のオンラインマニュアルをご覧ください。
Welfer for Windows HFU-WIN-03	CTR-800-01 とコンピュータ間でシリアル通信によるファイル転送を行なうプログラムです。	ソフトウェア付属のマニュアルをご覧ください。



第2章

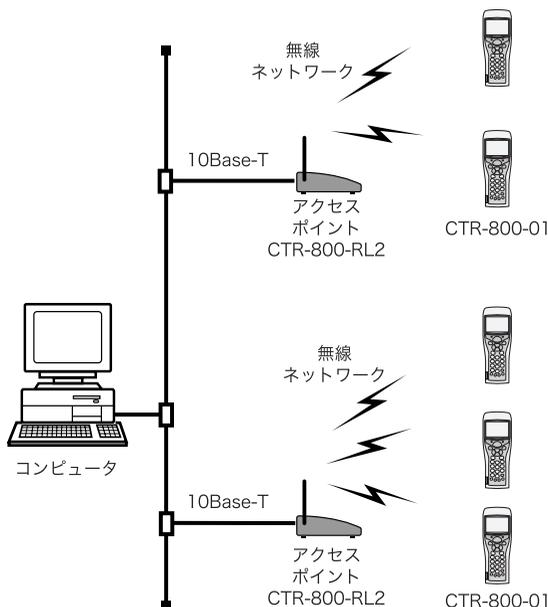
ネットワーク構成



2-1 無線通信について

CTR-800 シリーズの無線機能

CTR-800 シリーズは、無線伝送方式によるハンディターミナル・ネットワークシステムです。バーコード端末は小型軽量で携帯性に優れており、コンピュータから離れた場所で移動しながらバーコードデータを収集する作業に適しています。無線方式には、秘匿性に優れ電波干渉への耐性が高い周波数ホッピングスペクトラム拡散方式を採用し、バーコード読取り時のデータエンリヤファイルの送受信をリアルタイムに無線ネットワークで行なうことができます。



無線通信の方式

スペクトラム拡散 (SS : Spread Spectrum) 方式とは変調方式の一種で、周波数ホッピング (FH:Frequency Hopping) 方式とは、スペクトラム拡散方式における無線通信技術のひとつです。秘匿性が高くノイズに強いという特長を持ち、同一空間上に複数の独立した通信チャンネルを確保できます。CTR-800 シリーズでは、この無線通信方式を採用しています。

アクセスポイントの役割

アクセスポイントは端末（CTR-800-01）への無線サービスエリアの提供と、有線イーサネット LAN との packets 中継を行なう無線ネットワーク対応ローカルブリッジとして機能します。

端末は、それぞれが IP アドレスを持っており、アクセスポイントを介してダイレクトにイーサネット LAN に接続されたコンピュータと TCP/IP 通信を行いません。

2-2 無線ネットワークの構成

無線ネットワークを構成するために次の項目を設定します。

ドメイン

無線ネットワークの所属（ドメイン）を決定するグループ番号です。バーコード端末は、同一のドメインが設定されたアクセスポイントにのみ同期します。複数台のアクセスポイントを設置して広いサービスエリアを提供する（ローミング機能）ような無線ネットワークを構築する場合は、その全ての構成機器に同一のドメインを設定します。ドメインは0～15の範囲で設定できます。

チャンネル

チャンネルは、無線回線における仮想的な通信経路を分割するものです。バーコード端末は自分と同じチャンネルのアクセスポイントにのみ同期します。同一エリア内に複数のアクセスポイントを設置する場合は、それぞれに異なるチャンネルを設定します。チャンネルは1～15の範囲で設定できます。

サブチャンネル

サブチャンネルは、相互に電波が到達するエリア内で有効チャンネル数（15）を超える台数のアクセスポイントを設置する場合に、混信を生じさせないために設定するものです。バーコード端末は自分と同じサブチャンネルのアクセスポイントにのみ同期します。サブチャンネルは一つのチャンネルを分割して使用するため、転送効率はや低くなります。サブチャンネルは1～15の範囲で設定できます。

セキュリティ ID

会社単位または部門単位などでセキュリティを確保するために設定します。最大20文字の英数字が設定可能で、設定されたIDはコード化されて約1600万種のIDとして機能します。異なるセキュリティIDを持つ機器間では無線通信を行なうことはできません。

セキュリティIDは読取り専用であり、設定した内容を確認することはできません。分からなくなった場合は、再度設定を行なってください。

マスタ名

各アクセスポイントに識別用の名前を与えます。最大 11 文字の英数字が設定可能です。



バーコード端末の無線テストメニューや、ミドルウェアパッケージ WebGlider ではマスタ名でアクセスポイントを識別表示しますので、必ずユニークな名前を設定してください。

以下の項目は、無線ネットワークの通信効率の向上および監視のための設定です。特に必要がなければ出荷時設定の状態でお使いください。

MAC オプティマイズ

小規模ネットワークにおけるスループットを改善します。

デフォルトの設定は Auto で、同期しているバーコード端末の数により相応したパラメータを自動調整します。

同時にアクセスポイントと通信する端末が 1 台ならば Very Light を、7 台以下ならば Light を設定してください。Light の設定であっても同時に 8 台以上の端末がアクセスポイントと同期可能ですが、Normal 設定時より通信効率は低下します。

同時に 8 台以上の端末がネットワークに存在する場合、Auto または Normal に設定してください。

No Traffic Trap Period

設定された時間以上、無通信になると "Trap Target" にトラップ情報を送信します。この項目は SNMP に関連する項目です。

Radio Traffic Trap Threshold

無線のトラフィックが指定された割合を超えると "Trap Target" にトラップ情報を送信します。

この項目は SNMP に関連する項目です。

Radio Broadcast Traffic Trap Threshold

無線のブロードキャストトラフィックが指定された割合を超えると "Trap Target" にトラップ情報を送信します。

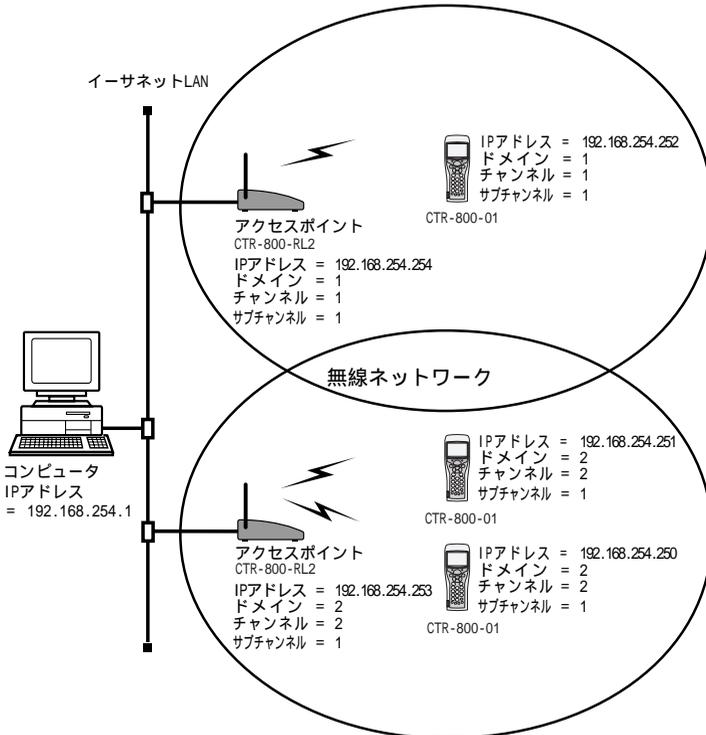
この項目は SNMP に関連する項目です。

2-2-1 ネットワーク構成例

ローミングなしの場合

バーコード端末は特定のアクセスポイントとのみ通信します。

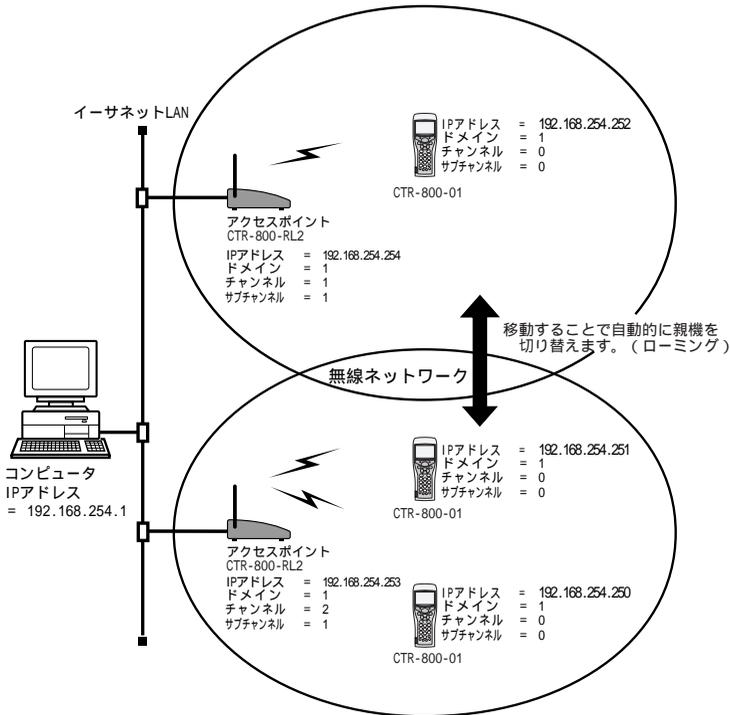
各アクセスポイントの「ドメイン」「チャンネル」をそれぞれ異なる設定にし、端末は「ドメイン」「チャンネル」「サブチャンネル」を通信するアクセスポイントの設定に合わせます。



ローミングありの場合

バーコード端末は自動的にアクセスポイントを切り替えて通信します。

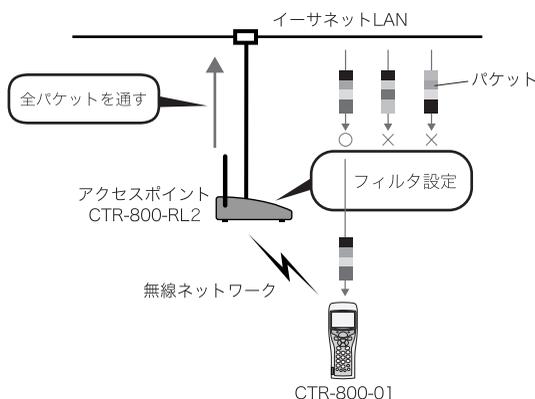
各アクセスポイントの「ドメイン」を同じ値に設定（「チャンネル」は異なる値に設定）し、端末は「ドメイン」を共通の値に設定します。ローミングありの場合、端末の「チャンネル」「サブチャンネル」は0に設定します。



2-3 フィルタ設定

フィルタは、有線ネットワークから無線ネットワークへ不必要なパケットが流れないように設定します。

設定できるフィルタは、Fixed Nodes フィルタ、IPX ブロードキャストフィルタ、プロトコルタイプフィルタ、ARP フィルタの4種類です。これらの設定を間違えると、通信ができなくなるので注意してください。



Fixed Nodes フィルタ (CTR-800 アドレスフィルタ)

CTR-800 シリーズの各機器は、「0020A6」ではじまる物理アドレス (MAC アドレス) を持っています。このフィルタを有効にすると物理アドレスの先頭 3 バイトが「0020A6」でないパケットは遮断 (Filtering) されます。

IPX ブロードキャストフィルタ

特別な NetWare のブロードキャストパケットをフィルタします。フィルタの設定ができるパケットは次のものです。

- ・ IPX RIP (Routing Information Protocol)
- ・ IPX SAP (Service Advertising Protocol)
- ・ IPX LSP (Link State Protocol)

CTR-800 のシステムでは NetWare のパケットを参照しません。通常は遮断 (Filtering) にしておきます。

プロトコルタイプフィルタ

無線ネットワークで使用しないプロトコルタイプを遮断 (Filtering) します。フィルタの設定ができるパケットは次のものです。

- IP/ARP (TCP/IP)
- IPX (Novell)
- NetBEUI (LAN Manager、Windows for Workgroup)
- AppleTalk
- DECNet
- Other (その他のプロトコル全て)

通常は出荷時設定のままお使いください。

ARP フィルタ

TCP/IP ARP (Address Resolution Protocol) のパケットを遮断 (Filtering) できます。このフィルタが有効な場合、IP アドレスとサブネットマスクで定義された ARP のブロードキャストパケットだけ中継します。

MAC Multicast フィルタ

マルチキャストパケットを遮断 (Filtering) できます。このフィルタが有効な場合、MAC アドレスとサブネットマスクで定義されたマルチキャストパケットだけ中継します。

BROADCAST BANDWIDTH ALLOCATION

BROADCAST BANDWIDTH ALLOCATION は、イーサネットネットワークから無線クライアントへ送られるブロードキャストパケットの最大パーセンテージを指定します。ブロードキャストトラフィックを制限したい場合に有用です。

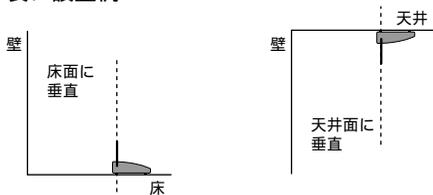
2-4 設置について

無線機器を設置するには次の条件を満たすようにしてください。

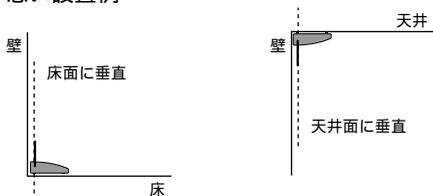
- ・無線機器のアンテナが壁や床、天井から少なくとも 50cm 以上離れるように設置してください。
- ・無線機器の間に大きな障害物がないようにしてください（見通しが最良であること）。
- ・無線機器のアンテナが、床面、または天井面に対して垂直になるように設置してください。
- ・無線機器同士の距離がある程度以上離れると、機器の上下、左右で電波の強弱が大きく変化します。安定して通信できる場所を探してください。
- ・無線機器とコンピュータの間、または無線機器同士の間は最低 3m 程度の間隔を置いてください。
- ・電子レンジ等、2.45GHz 帯を使用している機器の近くでは使用しないでください。

【例】アンテナを壁、床、天井から離して設置

良い設置例

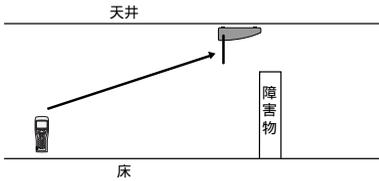


悪い設置例

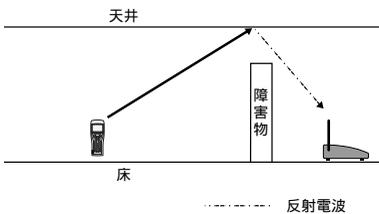


【例】見通しの良い場所に設置

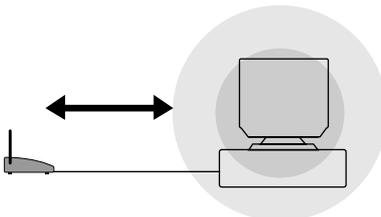
良い設置例



悪い設置例



【例】ノイズ源となる機器から離して設置



パソコン、電子レンジ等からはノイズが出ています

アンテナの働き

アンテナは電波の出入口にあたり、無線機器で造られた高周波エネルギーを電波として効率よく空間に放射します。

従ってアンテナの設置状態や周囲の空間環境は電波の放射状態を大きく左右します。

電波と障害物

電波は一波長の大きさが大きい程、壁等の障害物の影響を受けにくくなります。例えば、一波長が約 300m 前後の「中波」であるラジオの電波などは建物等の影響をほとんど受けませんが、本製品（2.4GHz）では一波長が約 12cm であり、光の性質に近くなり、電波の直進性が強くなります。このため、電波を遮る障害物による影響が大きくなります。

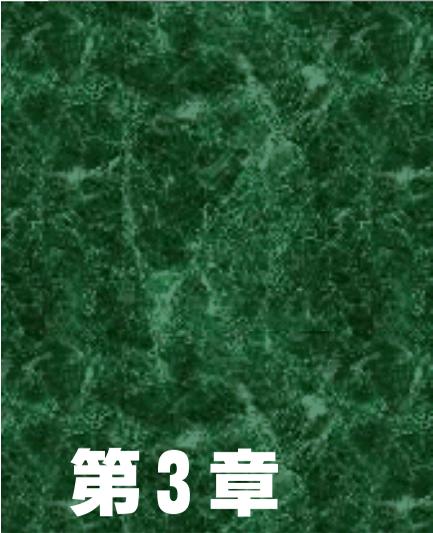
2-4-1 通信エリアの確認

機器の設置場所を確定する前には、必ず通信エリアを確認してください。通信エリアとは安定した無線通信ができる範囲を指します。機器間の距離が近くても、間に遮蔽物がある場合や近くにノイズの発生源がある場合は、無線通信ができないことがあります。

無線通信エリアの確認

端末側で無線テストを実行します。

端末の画面に表示される電界強度インジケータを見ながら、通信エリアを確認してください。なお、この電界強度表示は厳密なものではなく、端末毎に値がばらつくこともありますので大まかな目安としてご利用ください。



第3章

アクセスポイントの設定方法



3-1 設定方法

アクセスポイントには以下の設定方法があります。

- ・RS-232C から設定する方法
- ・Telnet により設定する方法
- ・Web ブラウザにより設定する方法

「RS-232C」以外で各設定を変更するには、最初に IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。

出荷時設定は下表のとおりです。変更する場合は各設定方法をご参照ください。

設定項目	出荷時設定
IP Address	192.168.254.250
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway Address	0.0.0.0



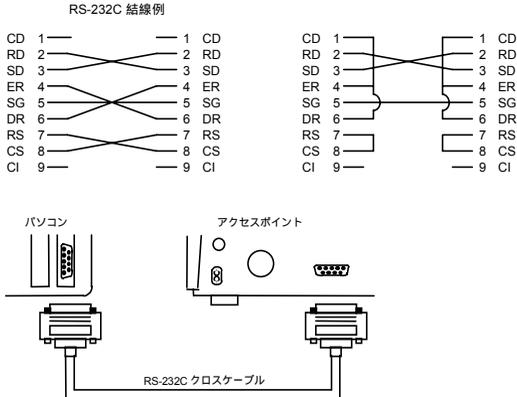
印の項目は、[Reset Access Point to Factory Defaults]を実行すると、値が変わります。

詳細は、「9: Reset Access Point to Factory Defaults (P.3-12)」を参照してください。

3-1-1 RS-232C から設定する方法

操作手順

RS-232C ケーブルでアクセスポイントとパソコンを接続します。



ターミナルの設定

ターミナルエミュレーションパッケージのポート設定を以下のように設定します。例えば Windows のハイパーターミナルをご使用の場合、接続方法：COM1 ヘダダイレクト等を選択し「モデムの設定」でポートの設定を行ないます。

通信速度	9600bps
データビット	8Bit
ストップビット	1bit
パリティ	なし

エミュレーションの端末型は、TTY を選択してください。

アクセスポイントの電源を入れます。

起動処理のメッセージがターミナルの画面に表示されます。イニシャライズ処理が完了し “ Initialization Complete ” が表示されたら [Enter] キーを押してください。

Main Menu が表示されます。

各項目の設定を行なってください。

3-1-2 Telnet により設定する方法

操作手順

有線ネットワークのクライアントからアクセスポイントに Telnet のセッションをオープンします。

[Telnet Password]のパスワードが設定されている場合には、Password:の入力が要求されます。

Main Menu が表示されます。

各項目の設定を行なってください。

3-1-3 Web ブラウザにより設定する方法

CTR-800-RL2 は Netscape Navigator や Microsoft Internet Explorer 等のブラウザにより管理することができます。

操作手順

アクセスポイントの IP アドレスを指定して接続します。

例) http://192.168.254.250/

[Browser UserName / Password]のブラウザのユーザ名、パスワードが設定されている場合には、[User Name][Password]の入力が要求されます。

CTR-800-RL2 の画面が表示されます。

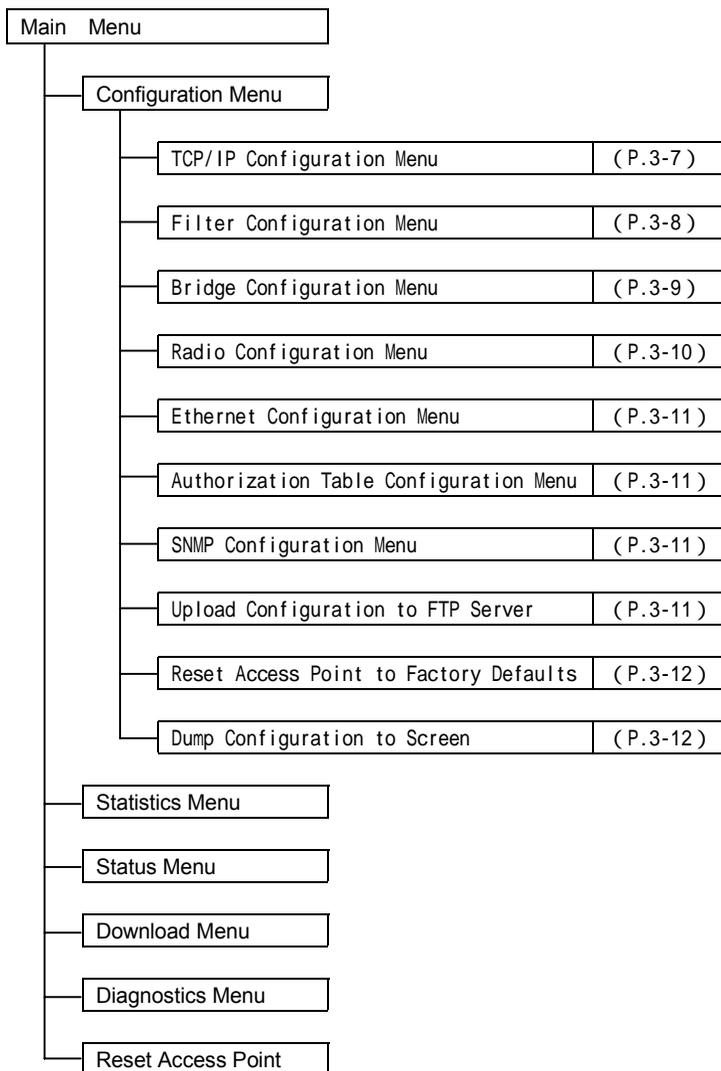
各項目の設定を行なってください。

3-2 設定メニュー

アクセスポイントの設定メニューは以下の構成になっています。

Main Menu		
Configuration Menu	アクセスポイントの各パラメータの設定を行ないます。	(P.3-6)
Statistics Menu	アクセスポイントの統計値を確認できます。	(P.3-13)
Status Menu	アクセスポイントの現在の状態が確認できます。	(P.3-15)
Download Menu	アクセスポイントのソフトウェアをアップグレードするためのメニューです。	
Diagnostics Menu	アクセスポイントの診断用メニューです。これには、サイトサーベイ等が含まれます。なお、Technical Support Parametersは、保守のパラメータでご使用になれません。	
Reset Access Point	アクセスポイントをリセットします。リセット後に、変更した全てのパラメータが有効になります。	

3-2-1 Configuration Menu



1 : TCP/IP Configuration Menu

アクセスポイントの TCP/IP パラメータを変更する場合にこのメニューを選択してください。

設定項目	選択できる設定値	出荷時設定
IP Address	-	192.168.254.250
Subnet Mask	-	255.255.255.0
Default Gateway Address	-	0.0.0.0
Send BOOTP at Boot Time	True False	False
BOOTP Server Address	-	0.0.0.0
Telnet Access	Enable Disable	Enable
Telnet Password	-	-
Browser Management	Enable Disable	Enable
Browser User Name	-	-
Browser Password	-	-



印の項目は、[Reset Access Point to Factory Defaults]を実行すると、値が変わります。詳細は、「9 : Reset Access Point to Factory Defaults (P.3-12)」を参照してください。

IP Address

アクセスポイントに IP アドレスを設定します。IP アドレスが分からない場合はネットワーク管理者に聞いてください。変更した場合は必ずアクセスポイントをリセットしてください。

Subnet Mask

アクセスポイントが接続されているネットワークのネットワークアドレスと内部アドレスを区別するために使われるマスクを示します。

Default Gateway

異なったネットワークに接続する中継点（通常はルータ）の IP アドレスを設定します。

Send BOOTP at Boot Time

起動時にアクセスポイントの IP アドレスを BOOTP サーバーから取得する機能を有効または無効に設定できます。

Telnet Access

Telnet によるアクセスポイントの設定を可能にするか不可能にするかを設定できません。また、Telnet でアクセスするときのパスワードを設定できません。パスワードは、セキュリティのため必ず変更してください。

2 : Filter Configuration Menu

有線ネットワークから無線ネットワークへ不必要なパケットが流れないようにフィルタを設定します。この設定は CTR-800-01 を使用する上で最適化していますのでなるべく変更しないでください。

設定項目	選択できる設定値	出荷時設定
Filter Fixed Node	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter IP Packets	Filtering Not Filtering	Not Filtering
Filter IPX Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filer NetBEUI Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter AppleTalk Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter DECNet Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter Other Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter IPX RIP Broadcast Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter IPX SAP Broadcast Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter IPX LSP Broadcast Packets	Filtering Not Filtering	Filtering
Filter ARP Broadcast Packets	Filtering Not Filtering	Not Filtering
ARP Filter Network Address	-	0.0.0.0
ARP Filter Subnet Mask	-	0.0.0.0
Filter MAC Multicast Packets	Filtering Not Filtering	Not Filtering
MAC Filter Address	-	01:00:00:00:00:00
MAC Filter Subnet Mask	-	00:00:00:00:00:00
Broadcast Bandwidth Allocation (%)	0-100	80



印の項目は、[Reset Access Point to Factory Defaults]を実行すると、値が変わります。詳細は、「9 : Reset Access Point to Factory Defaults (P.3-12)」を参照してください。
設定値については、「2-3 フィルタ設定 (P.2-8)」を参照してください。

3 : Bridge Configuration Menu

設定項目	選択できる設定値	出荷時設定
Aging Period (秒)	10-1,000,000	300
Forwarding DB Usage Trap Threshold	0-100 (%)	100

Aging Period

アクセスポイントには、中継するパケットの物理アドレスを学習して、必要のない宛先向けのパケットをブロックするローカルパケット破棄機能があります。AgingPeriodは、学習した物理アドレスを破棄するまでの時間を設定します。

Forwarding DB Usage Trap Threshold

学習しているアドレスがデータベースの何パーセントに達したときに SNMP トラップを送信するかを設定します。データベースは 2048 エントリ分用意されています。

4 : Radio Configuration Menu (基本設定)

設定項目	選択できる設定値	出荷時設定	備考
Radio Port Administrative Status	Enabled Disabled	Enabled	-
Domain	0-15	0	-
Channel	1-15	1	-
Subchannel	1-15	1	-
Station Type	Master/Station	Master	変更禁止
Master Name	11 文字	Master	英数字
Error Domain	0-15	13	-
Repeating Enabled	True False	False	変更禁止
Delay Radio Reconfigure	True False	False	-
MAC Optimize	Auto/Very Light/ Light/Normal	Auto	-
No Traffic Trap Period (seconds)	0-10,000,000	0	-
Radio Traffic Trap Threshold (%)	10-100	100 *	-
Radio Broadcast Trap Threshold (%)	10-100	100 *	-
Set Security ID	0-20 文字	セキュリティ IDなし	英数字
Reset Radio	-	-	-



*100%を設定した場合、このトラップの無効を意味します。

Delay Radio Reconfigure

このパラメータを有効 (True) に設定してある場合、ドメイン、チャンネル等上記のパラメータを変更しても、Reset Radio を実行するかアクセスポイントをリセットするまでは有効になりません。



各項目の設定値については、「1-3 基本設定項目 (P.1-5)」を参照ください。

5 : Ethernet Configuration Menu

設定項目	選択できる設定値	出荷時設定
10Base-T Link Monitor	Enabled Disabled	Disabled
Ethernet Port Administrative Status	Enabled Disabled	Enabled

10Base-T Link Monitor

この機能を有効にするとイーサネット 10Base-T 接続で動作しているかをチェックして、10Base-T インターフェースに異常があった場合（ケーブルがはずれたなど）、現在のドメインからエラードメイン（出荷時設定 13）に切り替え、電源 LED を点滅させます。この機能の出荷時設定は無効です。

Ethernet Port Administrative Status

SNMP の MIB- Administrative Status パラメータと同様の機能で SNMP マネージャーにより使用不能にされたイーサネットインターフェースを使用可能に戻すことができます。

6 : Authorization Table Configuration Menu



Authorization Table についての詳細は、「3-2-5 許可テーブル (Authorization Table) (P.3-19)」を参照してください。

7 : SNMP Configuration Menu



SNMP についての詳細は、「3-2-4 SNMP の設定 (P.3-17)」を参照してください。

8 : Upload Configuration to FTP Server

アクセスポイントの現在の設定を FTP サーバー上のファイルにアップロードすることができます。ファイルをアップロードするディレクトリ、FTP サーバーの IP アドレス、FTP ユーザ名と FTP パスワードを画面に従って入力してください。

9 : Reset Access Point to Factory Defaults

この処理を実行すると全てのパラメータがデフォルトの値に設定されます。なお、この処理は RS-232C からの設定でのみ実行できます。



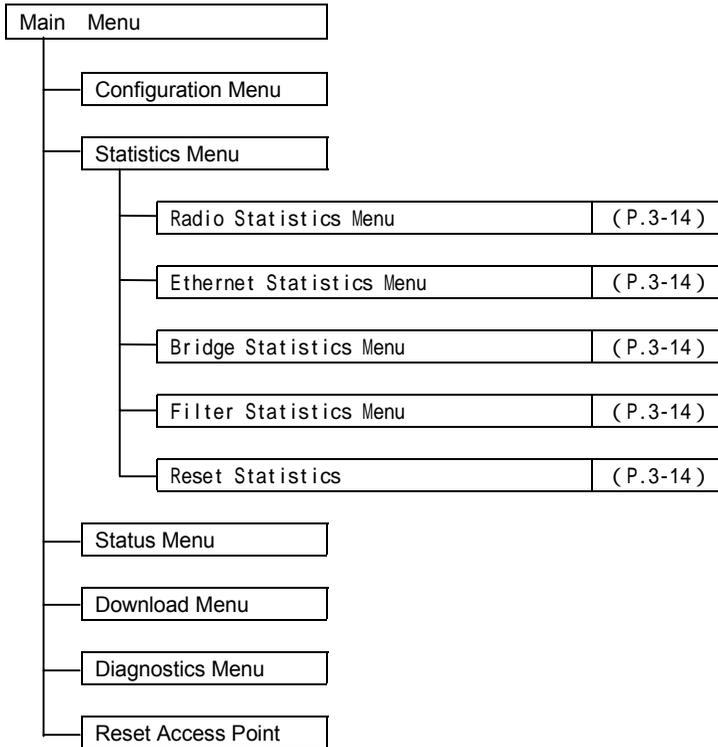
「デフォルト」と「出荷時設定」は異なります。「出荷時設定」とは CTR-800-01 を使用する上で最適化した設定です。この処理を実行すると「出荷時設定」ではなく「デフォルト」になります。

10 : Dump Configuration to Screen

アクセスポイントの現在の設定を確認することができます。

3-2-2 Statistics Menu

アクセスポイントの統計値を確認できます。



第3章 アクセスポイントの設定方法

1 : Radio Statistics Menu

アクセスポイントが正常に送信したパケット数と受信したパケット数を表示します。

2 : Ethernet Statistics Menu

イーサネットトラフィックに関する種々の統計値が表示されます。

3 : Bridge Statistics Menu

中継するパケットの物理アドレスを学習するために遮断 (Filtering) する情報を表示します。同時に物理アドレスの学習テーブルの使用状況をパーセンテージで表示します。

4 : Filter Statistics Menu

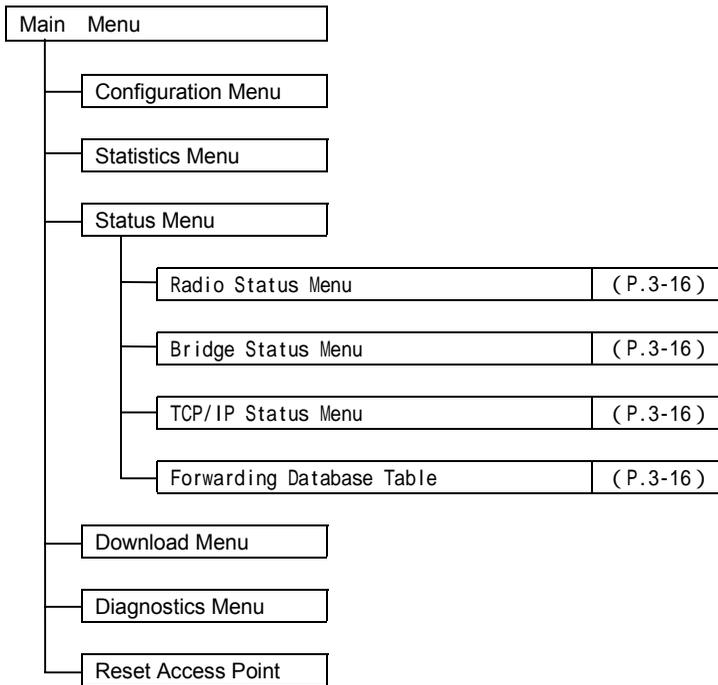
種々のフィルタオプションのために遮断 (Filtering) されたパケットの数を表示します。

5 : Reset Statistics

この処理を実行すると統計値はすべてリセットされます。

3-2-3 Status Menu

アクセスポイントの現在の状態を確認できます。



1 : Radio Status Menu

現在の無線に関する状況を表示します。

- Radio Traffic Level
無線トラフィックの状況が表示されます。
- Radio Broadcast Level
無線ブロードキャストの状況が表示されます。
- Last Unauthorized Address
アクセスポイントへの接続が許されていない端末の中で、最後にアクセスしようとした端末の MAC アドレスが表示されます。
- Radio ROM version
ファームウェアのバージョンが表示されます。
- Reset Required for Reconfiguration
チャンネル等アクセスポイントをリセットしないと有効にならない項目が変更されている場合に"true"が表示されます。
- Number of Radio Station Connected
指定された時間内に接続された端末数が表示されます。時間は Bridge Configuration Menu の Aging Period で設定します。

2 : Bridge Status Menu

アクセスポイントの物理アドレスが表示されます。

3 : TCP/IP Status Menu

TCP/IP に関する設定が表示されます。

4 : Forwarding Database Table

アクセスポイントは学習機能付きブリッジです。ネットワーク上のパケット宛先を長時間監視・学習することでノードがどこにあるのかを決定しています。この学習ノードテーブルを見ることができます。

3-2-4 SNMP の設定

CTR-800-RL2 は次の MIB をサポートしています。

- MIB- (RFC1213)
- IEEE 802.1d Bridge MIB (RFC1493)
- Extend Ethernet MIB (RFC1643)
- Proxim Enterprise MIB

Proxim Enterprise MIB は、ASN.1 フォーマットで記述されています。

Proxim Enterprise MIB は別売り「WebGlider WBG-800-01」に同梱されています（詳細は、弊社営業部まで問い合わせください）。

SNMP マネージャーを使う前に、SNMP 設定メニューより SNMP パラメータをアクセスポイントに設定します。

Enable/Disable SNMP

SNMP マネージャーによる管理を有効または、無効に設定します。

Read-Only SNMP Community

このパラメータには、読み出し専用のコミュニティ名を設定します。このコミュニティでは「GET」と「GET-NEXT」のオペレーションだけがサポートされます。このコミュニティで「SET」のオペレーションを実行すると一般的なエラーが返答されます。

Read-Only SNMP Manager IP Address

このパラメータは、Read-Only SNMP Community の使用を許す SNMP マネージャーの IP アドレスを設定します。0.0.0.0 のアドレスを設定した場合、どんな SNMP マネージャーでもこのコミュニティの使用を許すことを表わします。

Read-Write SNMP Community

このパラメータには、読み出し、書き込みのコミュニティ名を設定します。このコミュニティでは「GET」、「GET-NEXT」、「SET」のオペレーションがサポートされます。

Read-Write SNMP Manager IP Address

このパラメータは、Read-Write SNMP Community の使用を許す SNMP マネージャーの IP アドレスを設定します。0.0.0.0 のアドレスを設定した場合、どんな SNMP マネージャーでもこのコミュニティの使用を許すことを表わします。

SNMP Trap Community

このパラメータはアクセスポイントが SNMP マネージャーに送信する TRAP PDU を生成する際に付与するコミュニティ名を設定します。

Trap Target IP Address

生成された TRAP PDU が送信されるデバイスの IP アドレスを指定します。 0.0.0.0 を指定するとトラップの生成を無効にします。

Authentication Traps

アクセスポイントが不正なコミュニティからのアクセスを認識したときに、トラップを送信するか、しないかを設定します。

SNMP がサポートするトラップ

Cold Start	アクセスポイントのリポート時に送信
Link up	起動時に互いにインターフェースがとられたときに送信
Link Down	アクセスポイントのソフトウェアが初期化できない、または無線通信できないときに送信
Authorization	何者かが無効なコミュニティでアクセスポイントの管理を試みたときに、ネットワーク管理者に送信
No Traffic	「No Traffic Trap Period」に 0 でない値を設定した場合、設定された時間になっても他の無線装置からトラフィックを受信しないときに送信 時間は「Radio Configuration Menu」で設定します。
Broadcast Threshold	無線のブロードキャストが「Radio Configuration Menu」の Radio Broadcast Trap Threshold で設定したパーセンテージを超えたときに送信
Cache Table High Usage	Forwarding DB Usage Trap Threshold に設定したキャッシュテーブル使用率が設定したパーセンテージを超えたときに送信
Radio High Usage	無線トラフィックが「Radio Configuration Menu」の Radio Traffic Threshold で設定した限度を超えたときに送信
Serial Port Down	アクセスポイントのシリアルポートが動作しないときに送信。なお、このステータスは起動時のみチェックされます。
Unauthorized Usage Trap	無許可の無線ユーザがネットワークに加入しようとしたときに送信。

3-2-5 許可テーブル (Authorization Table)

セキュリティを強化するためにアクセスポイントへの接続を許可するか、または接続を拒否するかを MAC アドレスで判断する許可テーブル (Authorization Table) を設定することができます。

このアドレスは手作業で追加および削除できます。これはすでに CTR-800-RL2 のハードウェアによってサポートされるセキュリティ ID によるセキュリティ機能を強化します。

Authorization Table

許可テーブルの表示、追加および削除ができます。

- Display Table
- Add Entry
- Delete Entry

Authorization Table Usage Option

許可テーブルの使用法を設定します。

- unused 許可テーブルを使用しない。
- allow access アクセスポイントへの接続を許可する物理アドレスを設定する。
- deny access アクセスポイントへの接続を許可しない物理アドレスを設定する。

デフォルトの設定は“unused”になっています。最新の許可テーブルの維持管理が難しい場合は“unused”を設定してください。許可テーブルは最大 256 個のアドレスを設定可能です。

Enable/Disable Unauthorized Addr. Trap

無許可の無線ユーザがアクセスポイントにアクセスしようとしたときに SNMP のトラップを送信 (enable) するか、送信しないか (disable) を設定をします。

Update Authorization Config. of All APs

他のアクセスポイントに許可テーブルをダウンロードすることができます。

この機能を使えば、同じネットワークのすべてのアクセスポイントに個々に許可テーブルを設定する必要がありません。

AP Authorization Config. Download Table

許可テーブルのダウンロードの状況が確認できます。ただし、ダウンロードは短時間で終わるため、たいいていの場合、最終結果のみ確認できます。

3-2-6 各端末の電波強度を見る（サイトサーベイ）

アクセスポイントと同ドメインの無線端末からの電波状況を確認できます。信号強度が弱い場合、アクセスポイントや無線端末の位置を調整します。

サイトサーベイは「Radio Diagnostics Menu」から実行します。

Run Broadcast Site Survey

サイトサーベイを行なう場合、まず Run Broadcast Site Survey を選択してください。指定された時間調査を行ない、その時に発見された無線端末の MAC アドレス、リンククオリティ、RSSI を表示します。

リンククオリティが、4~5 になるように、アクセスポイントや無線端末の位置を調整します。

RSSI は、特定のノードから受信した信号の強さを示します。重要なのは信号の強さよりリンククオリティが高いことです。

Run Directed Site Survey

Run Broadcast Site Survey を使ったあとに選択します。

特定の無線端末に指定されたパケットサイズのデータを送信し、1秒当りに転送されるパケット数とバイト数を測定し表示します。この機能を使用して無線端末とのデータ転送速度を簡単に測定できます。



「CTR-800-01」を起動し、「無線のテスト」「通信テスト」にしてください。設定の詳細は「SS 無線レーザーリーダーCTR-800-01」ユーザーズマニュアルをご覧ください。

3-2-7 Web Browser Management

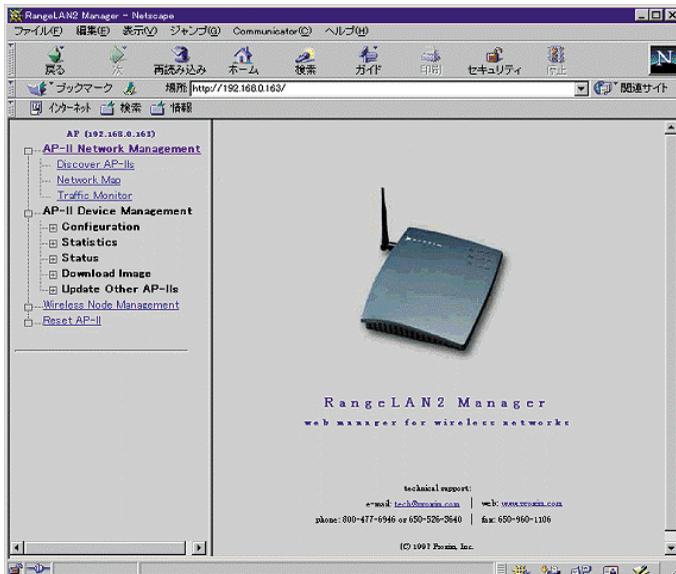
Web ブラウザを使用してアクセスポイントの設定および監視することができます。Web ブラウザは、Netscape Navigator 3.01 以上、Microsoft Internet Explorer 3.01 以上をサポートしています。Web ブラウザを起動し、アドレス（URL パス）にアクセスポイントの IP アドレスを指定します（例えば、http://192.168.254.250）。

Main Display

画面の左側には、前半は Web オプションが、後半には他のアクセス方式（Telnet、ターミナル、SNMP）でも利用可能な CTR-800-RL2 の管理機能が表示されます。それぞれのメニュー項目の先頭に「+」あるいは「-」が表示されます。「+」が表示されている項目は、サブメニューがあることを示します。



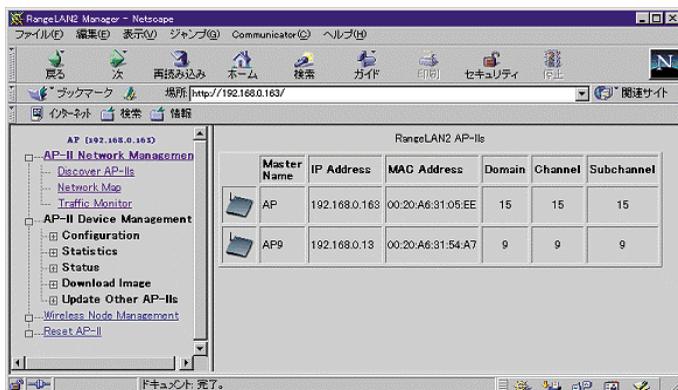
Web ブラウザ上では、本機は「AP」と表示されます。



AP- Network Management

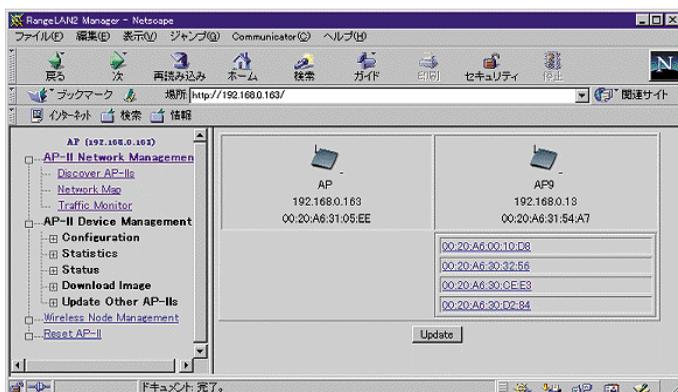
Discover AP- s

ネットワーク上で発見されたすべてのアクセスポイントが表示されます。



Network Map

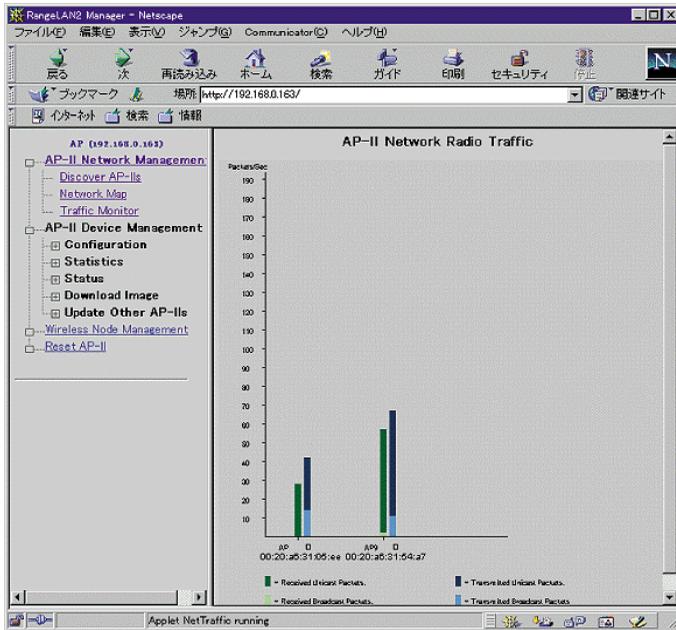
Discover AP- s と同様にネットワークに接続されたすべてのアクセスポイントが表示され、下の部分には、そのアクセスポイントに現在同期している CTR-800-01（または他のデバイス）の MAC アドレスが表示されます。



Traffic Monitor

AP のトラフィックをリアルタイムの棒グラフで表示します。

送信と受信をそれぞれユニキャストとブロードキャストに分けて表示します。



Internet Explorer の設定

Microsoft Internet Explorer を使用する場合、デフォルトの設定では「Traffic Monitor」を使用することができません。次の手順を参考に Internet Explorer の設定を変更してください。



次の説明は、Internet Explorer 5.0 での手順です。一部バージョンの違うブラウザでは、画面表記が異なる場合があります。

操作手順

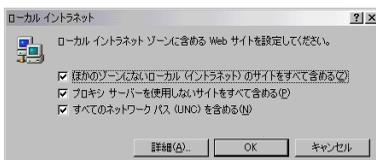
Internet Explorer のツールバーから「インターネット オプション」を選択します。

インターネットオプションダイアログが表示されます。

「セキュリティタブ」を選択し、「インターネット」を選んで、「サイト」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。

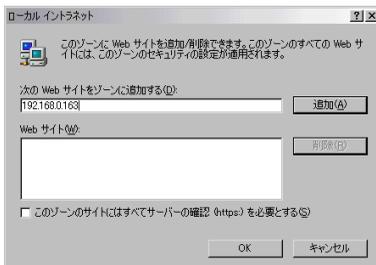


「詳細」ボタンをクリックします。

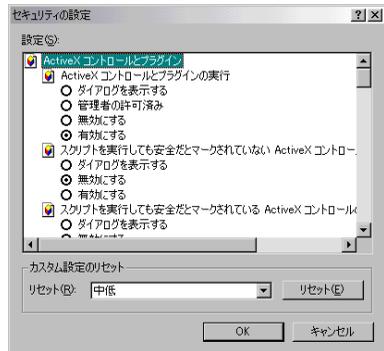


AP の IP アドレスを入力して「追加」ボタンを押します。

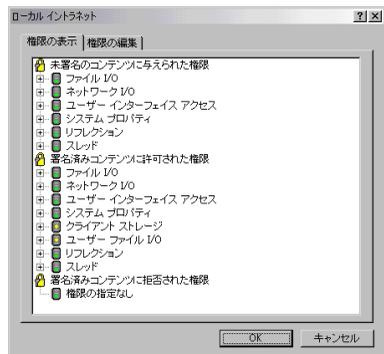
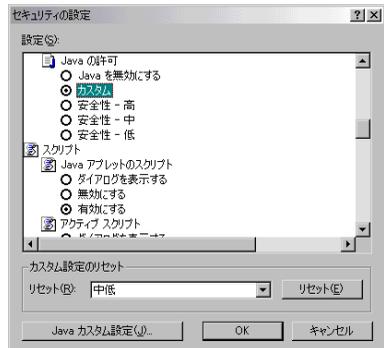
「OK」ボタンをクリックすると、の画面に戻ります。



の画面の「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリックすると、セキュリティの設定ダイアログが表示されます。



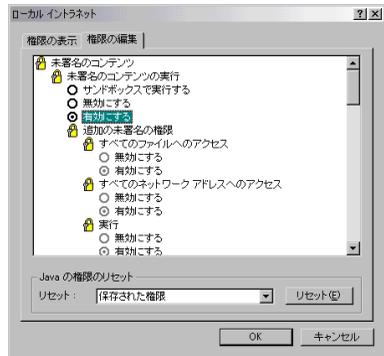
「Java の許可」から「カスタム」をチェックし、「Java カスタム設定」ボタンをクリックすると、イントラネットダイアログが表示されます。



第3章 アクセスポイントの設定方法

「権限の編集」タブを選択し、「未署名のコンテンツ」 - 「未署名のコンテンツの実行」から「有効にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックし、各ダイアログを閉じて、設定を終了します。

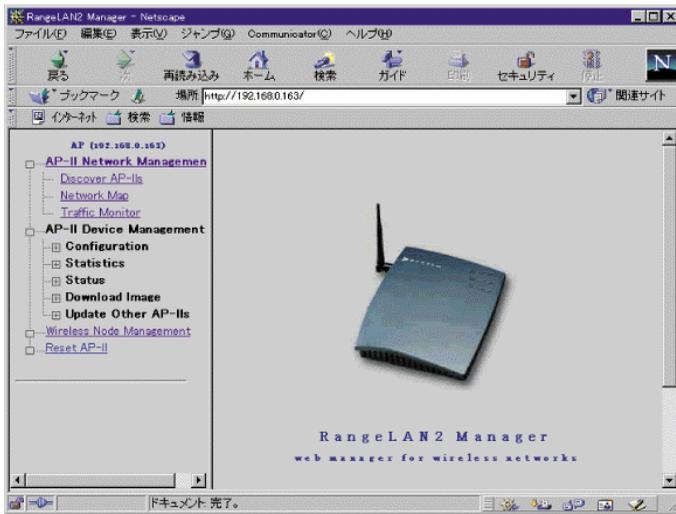


AP- Device Management

Telnet や RS-232C 接続で行っていた設定などが、このメニューから行なうことができます。



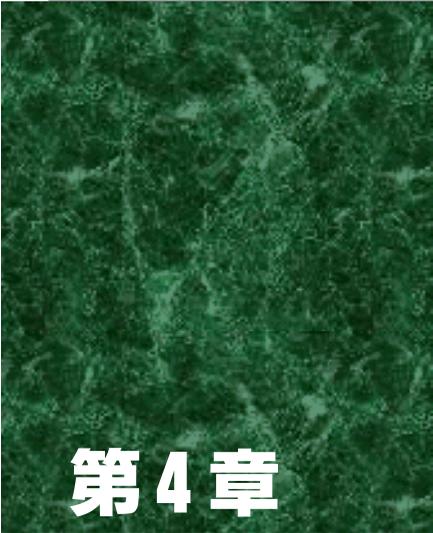
各項目の詳細については、「3-2 設定メニュー (P.3-5)」を参照してください。



Wireless Node Management



CTR-800-01 ではこの機能をサポートしていません。



第4章

仕様



4-1 本体部一般仕様

メモリー	FROM : 2M バイト	
	RAM : 1M バイト	
表示 LED	ステータス LED	オレンジ : 起動中 緑 : 正常動作
	無線 LED	無線データ送受信時に点灯
	有線 LED	有線データ送受信時に点灯
	マスタ LED	動作中に点灯
	リンク LED	10Base-T リンク成立後点灯
寸法	217 (W) × 166 (D) × 42 (H) mm (ネジ頭足、アンテナ、スイッチ、コネクタ含まず)	
重量	710 g	
電源	DC12V (専用 AC アダプタ使用)	
消費電力	最大 4W	
外部入出力端子	RS-232C	D-sub9P、9600bps, 8, 1, 無し
	10BASE-T	RJ-45 コネクタ
	10BASE-2	BNC コネクタ
サポートネットワーク	IEEE802.3 Ethernet	
管理機能	SNMP エージェント	
サポート MIB	MIB- (RFC1213)	
	IEEE802.1d Bridge MIB (RFC1493)	
	Extend Ethernet MIB (RFC1643)	
	Proxim Enterprise MIB	
環境	使用温度	0 ~ 50
	使用湿度	20 ~ 80%RH (ただし結露無きこと)

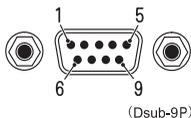
4-2 無線部仕様

通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散方式
無線周波数	2.4GHz 帯 (2.471 ~ 2.497GHz)
空中線電力	5mW / MHz 以下 (ピーク 100mW 以下)
伝送速度	最大 1.6Mbps
チャンネル数	15 (同時通信可能)
サブチャンネル数	15 (チャンネルを論理的に分割)
ドメイン数	16
セキュリティ	ハードウェアスクランブル セキュリティ ID (約 1600 万種の設定が可能)
アンテナ	1/4 ダイポール形式、長さ 110mm
通信可能距離	屋内：約 100m、屋外：約 200m

4-3 コネクタ仕様

RS-232C

コネクタピン配列 (使用コネクタ Dsub-9P 相当)



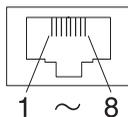
注) 六角型嵌合ネジ部
インチネジ

信号名

ピン番号	端子名	方向	説明
1	CD	入力	キャリア検出
2	RXD	入力	受信データ
3	TXD	出力	送信データ
4	DTR	出力	データ端末レディ
5	SG	-	シグナルグランド
6	DSR	入力	データセットレディ
7	RTS	出力	送信要求
8	CTS	入力	送信可
9	リザーブ	-	使用禁止

10Base-T

コネクタピン配列 (RJ-45)

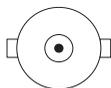


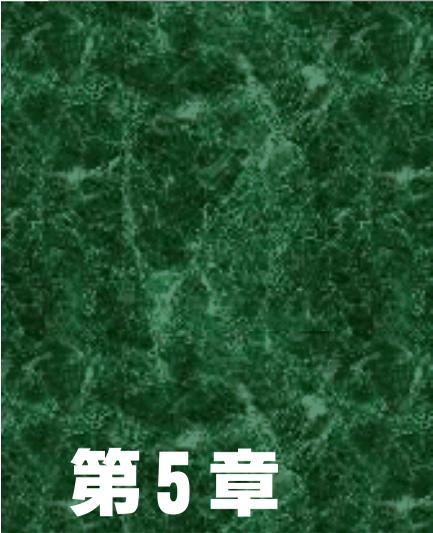
信号名

No.	信号名	信号方向
1	TX+	出力
2	TX-	出力
3	RX+	入力
4	-	-
5	-	-
6	RX-	入力
7	-	-
8	-	-

10Base-2

コネクタ (BNC)





第5章

FAQ 編



5-1 FAQ（よくある質問と回答）

Q：有線ネットワークに接続できない。

- ・イーサネットケーブルの接続に問題は無いですか？
クロス/ストレートの種別やコネクタの接触を確認してください。
10BASE-T の場合、リンク LED が点灯すれば正常です。
- ・IP アドレス等 TCP/IP の設定に問題はありますか？
ブラウザや Telnet、ping 等でアクセスポイントに接続できるか確認してください。

Q：無線通信が行なえない。

- < バーコード端末の圏外 LED が点灯する場合 >
- ・ドメイン、チャンネル、サブチャンネルの設定は一致していますか？
アクセスポイントとバーコード端末の設定を確認してください。
 - ・セキュリティ ID は一致していますか？
不明な場合はもう一度設定し直してください。
 - ・アンテナは正しく接続されていますか？
 - ・状態 LED は正常に緑色が点灯していますか？
 - ・バーコード端末はアクセスポイントの通信エリア内にいますか？
- < バーコード端末の圏外 LED が消灯または点滅する場合 >
- ・同じチャンネルのアクセスポイントが複数存在していませんか？
チャンネル / サブチャンネルの組み合わせが他のアクセスポイントと重複しないように設定してください。
 - ・障害の原因となる電波が発生していませんか？
電子レンジや他の無線 LAN など障害要因となる機器がないか確認してください。
またコンピュータがノイズ発生源となることもありますので、1 m 以上離す様にしてください。
 - ・必要なパケットが遮断 (Filtering) されていませんか？
CTR-800 の TCP/IP 通信に必要なパケットが遮断 (Filtering) されていないか確認してください。
 - ・バーコード端末の IP アドレス等 TCP/IP の設定に問題ありませんか？
ping 等で端末と通信できるか確認してください。

Q：アクセスポイントを壁面や天井に設置したい。

- ・別売りの壁掛け金具 WMB7050 をご検討ください。

Q：他の無線 LAN と共存させて使用したい。

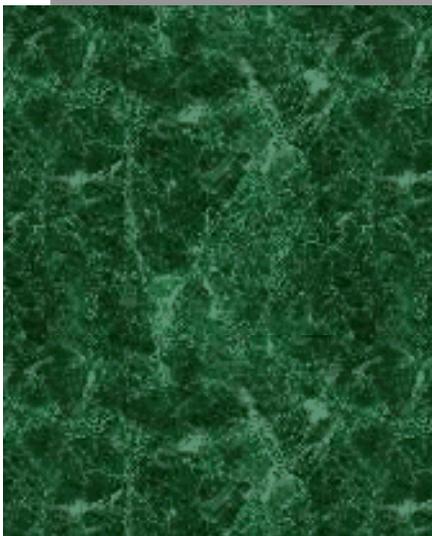
- ・ IEEE802.11b の無線 LAN をご使用になる場合、無線 LAN 側のチャンネル設定により電波の干渉を最小限に抑えることができます。詳しくは弊社営業部までお問い合わせください。

Q：アクセスポイントに IP アドレスを自動的に割当てたい。

- ・ アクセスポイントは BOOTP プロトコルをサポートしていますので、BOOTP サーバーや DHCP サーバーで IP アドレスを自動割当することが可能です。



WebGlider の DHCP サーバーはバーコード端末専用です。
アクセスポイントの設定は行なえませんのでご注意ください。



索引



1

10Base-2	1-4
10Base-T	1-4, 4-4
10Base-T Link Monitor	3-11

A

Aging Period(seconds)	3-9
AP Authorization Config. Download Table	3-19
AP- Device Management	3-27
AP- Network Management	3-22
ARP Filter Network Address	3-8
ARP Filter Subnet Mask	3-8
ARP フィルタ	2-8, 2-9
Authentication Traps	3-18
Authorization	3-18
Authorization Table	3-11, 3-19
Authorization Table Configuration Menu ..	3-11
Authorization Table Usage Option	3-19

B

BOOTP Server Address	3-7
Bridge Configuration Menu	3-9
Bridge Statistics Menu	3-14
Bridge Status Menu	3-16
BROADCAST BANDWIDTH ALLOCATION	2-9
Broadcast Bandwidth Allocation(%)	3-8
Broadcast Threshold	3-18
Browser Management	3-7
Browser Password	3-7
Browser User Name	3-7

C

Cache Table High Usage	3-18
Channel	3-10
Configuration Menu	3-6

D

Default Gateway	3-7
Default Gateway Address	3-7
Delay Radio Reconfigure	3-10
Discover AP- s	3-22
Domain	3-10
Dump Configuration to Screen	3-12

E

Enable/Disable SNMP	3-17
Enable/Disable Unauthorized Addr. Trap ..	3-19
Error Domain	3-10
Ethernet Configuration Menu	3-11
Ethernet Port Administrative Status ..	3-11
Ethernet Statistics Menu	3-14

F

Filter NetBEUI Packets	3-8
Filter AppleTalk Packets	3-8
Filter ARP Broadcast Packets	3-8
Filter Configuration Menu	3-8
Filter DECNet Packets	3-8
Filter Fixed Node	3-8
Filter IP Packets	3-8
Filter IPX LSP Broadcast Packets	3-8
Filter IPX Packets	3-8
Filter IPX RIP Broadcast Packets	3-8
Filter IPX SAP Broadcast Packets	3-8
Filter MAC Multicast Packets	3-8
Filter Other Packets	3-8
Filter Statistics Menu	3-14
Fixed Nodes フィルタ	2-8
Forwarding Database Table	3-16
Forwarding DB Usage Trap Threshold ..	3-9

I

IP Address	3-7
IPX ブロードキャストフィルタ	2-8

L

Last Unauthorized Address	3-16
LED	1-3
Link Down	3-18
Link up	3-18

M

MAC Filter Address	3-8
MAC Filter Subnet Mask	3-8
MAC Multicast フィルタ	2-9
MAC Optimize	3-10
MAC オプティマイズ	2-5
Main Menu	3-5
Master Name	3-10

MIB 3-17

N

Network Map 3-22

No Traffic 3-18

No Traffic Trap Period 2-5, 3-10

Number of Radio Station Connected... 3-16

P

Proxim Enterprise MIB 3-17

R

Radio Broadcast Level 3-16

Radio Broadcast Traffic Trap Threshold

..... 2-5

Radio Broadcast Trap 3-10

Radio Configuration Menu 3-10

Radio High Usage 3-18

Radio Port Administrative Status... 3-10

Radio ROM version 3-16

Radio Statistics Menu 3-14

Radio Status Menu 3-16

Radio Traffic Level 3-16

Radio Traffic Trap Threshold 2-5

Radio Traffic Trap Threshold(%) 3-10

Read-Only SNMP Community 3-17

Read-Only SNMP Manager IP Address... 3-17

Read-Write SNMP Community 3-17

Read-Write SNMP Manager IP Address.. 3-17

Repeating Enabled 3-10

Reset Access Point to Factory Defaults..

..... 3-12

Reset Radio 3-10

Reset Required for Reconfiguration.. 3-16

Reset Statistics 3-14

RS-232C 3-3, 4-4

Run Broadcast Site Survey 3-20

Run Directed Site Survey 3-20

S

Send BOOTP at Boot Time 3-7

Serial Port Down 3-18

Set Security ID 3-10

SNMP Configuration Menu 3-11

SNMP Trap Community 3-18

SNMP の設定 3-17

Station Type 3-10

Statistics Menu 3-13

Status Menu 3-15

Subchannel 3-10

Subnet Mask 3-7

T

TCP/IP Status Menu 3-16

Telnet 3-4

Telnet Access 3-7, 3-8

Telnet Password 3-7

Traffic Monitor 3-23

Trap Target IP Address 3-18

U

Unauthorized Usage Trap 3-18

Update Authorization Config. of All APs .

..... 3-19

Upload Configuration to FTP Server .. 3-11

W

WBG-800-01 1-6

Web ブラウザ 3-21

Wireless Node Management 3-27

あ

アクセスポイントの設定 1-5

アクセスポイントの役割 2-3

アンテナ 2-11

アンテナコネクタ 1-2

い

イニシャライズ 3-3

き

基本設定 1-5

許可テーブル 3-11, 3-19

く

空中線電力 4-3

さ

サイトサーベイ 3-20

サブチャンネル 2-4

サブチャンネル数 4-3

サポート MIB 4-2

索引

し

周波数ホッピング方式 2-2
状態 LED 1-2

す

スペクトラム拡散方式 2-2

せ

セキュリティ 4-3
セキュリティ ID 2-4
設置 2-10
設定方法 3-2
設定メニュー 3-5

そ

ソフトウェア 1-6

た

ターミナルの設定 3-3

ち

チャンネル 2-4
チャンネル数 4-3

つ

通信可能距離 4-3
通信方式 4-3

て

伝送速度 4-3

と

ドメイン 2-4
ドメイン数 4-3
トラップ情報 2-5

ね

ネットワーク LED 1-2

は

パスワード 3-4
ハンディターミナル 2-2

ふ

フィルタ 2-8

ブラウザ 3-4
プロトコルタイプフィルタ 2-9

ま

マスタ LED 1-2
マスタ名 2-5

む

無線 LED 1-2
無線周波数 4-3
無線通信の方式 2-2
無線伝送方式 2-2
無線ネットワーク 2-4

め

メモリー 4-2

ゆ

ユーザ名 3-4

り

リンク LED 1-2

ろ

ローミング 2-6

このマニュアルの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

SS 無線アクセスポイント CTR-800-RL2
ユーザーズマニュアル

2002 年 4 月 第 1 版 発行

株式会社ウェルキャット

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-17-12 IWATA ビル

TEL : 045-474-9800 FAX : 045-474-9815

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-7-19 第 7 新大阪ビル

TEL : 06-6307-0502 FAX : 06-6307-0504

Homepage <http://www.welcat.co.jp/>

E-mail info@welcat.co.jp

Copyright©2002 Welcat Inc.

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

M01AP_RL2



株式会社 **ウェルキヤット**